

答申原案(たたき台)

令和2年 月 日

千葉市長 熊谷俊人様

千葉市病院事業のあり方検討委員会

委員長 尾形裕也

### 千葉市立病院再整備基本構想（案）について（答申）

令和2年3月26日に諮問されました千葉市立病院再整備基本構想（案）（以下「基本構想（案）」という。）について、専門的な見地や市民の視点から慎重かつ活発な議論を重ねて参りました。

今般、本委員会の意見を取りまとめましたので、下記のとおり答申いたします。

市におかれましては、本答申について十分検討・精査され、市民が必要とする安全・安心な医療を、将来にわたって安定的に提供する体制を整備し、市立病院事業の一層の充実が図られることを期待します。

### 記

#### 1 基本構想(案)の妥当性について

基本構想（案）は、「本市の将来的な医療需要及び医療提供体制や両市立病院が抱える課題等を踏まえた今後の病院事業のあり方について（答申）」を踏まえた内容となっており、妥当であると判断できる。

新病院については、救急医療や災害医療などの政策的医療や市民が必要とする医療を地域で切れ目なく提供できるようにすることはもちろんのこと、持続的な運営を続けるために、経営的な視点からも十分に検討し、出来る限り早期に整備されるよう期待する。

## 2 意見

今後、基本構想（案）に基づいて、新病院の整備内容などについて具体的に検討されることとなるが、検討に際し考慮すべき事項として、以下のとおり意見を申し添える。

- ・医師や看護師をはじめとする病院職員が患者に寄り添い、患者の側に立った対応を期待するとともに、患者側もマナーを守って医療者と協働して治療を目指すような環境づくりを期待する。
- ・新病院の病床数については、救急医療体制の強化を図る等を踏まえると妥当である。青葉病院からの病床移行やその後の増床にあたっては、関係機関等と十分に協議し、今後の人口減少も見据え、適切な病床数を設定されたい。
- ・二次救急医療機関として救急医療体制の強化に取り組むことについては評価するところである。同時に、初期救急体制についても、現状の課題を十分に認識し、千葉市全体として最適な体制を検討されるよう期待する。
- ・産婦人科及び小児科の入院機能を新病院に集約することについては、増加するハイリスク妊産婦への対応や24時間分娩に対応する必要があるなどの診療の特性、産科医の不足、患者の減少の状況等を踏まえれば、市立病院やその他の医療機関との役割分担をすすめ、千葉市全体として、高度で専門的な医療提供体制を維持・充実させるために必要である。
- ・市立病院やその他の医療機関との役割分担を進めることで、必要な医療が提供されないのではないかという市民の不安に対し、丁寧に説明し理解を得ていく取り組みを行っていくことも必要である。
- ・市立病院は、不採算部門である政策的医療を担うことを期待されていることではあるが、今後到来するであろう人口減少社会にあっても、安定的に医療を提供するためには、経営の健全化に向けた取組みは軽視されるべきではない。今後具体的な検討を進めるにあたっては、市民の税金で運営されていることを真摯に受け止め、効果的な取組みを検討されたい。

前回の委員会でいただいたご意見のうち、青葉病院の機能等についてのご意見は現時点で反映していません。

資料3「中長期的な視点での検討について」をご覧の上、ご意見等があればいただきたいと思ます。